



2020年3月期決算説明資料

2020年5月19日
京成電鉄株式会社

- 1. 2020年3月期 連結決算**
2. E4プラン進捗状況
3. 参考資料

1-1. 業績概要（前期比較）

関東鉄道及び同子会社14社を連結子会社化（営業収益+78億円）
 新型コロナウイルス感染症の影響（営業収益△58億円）

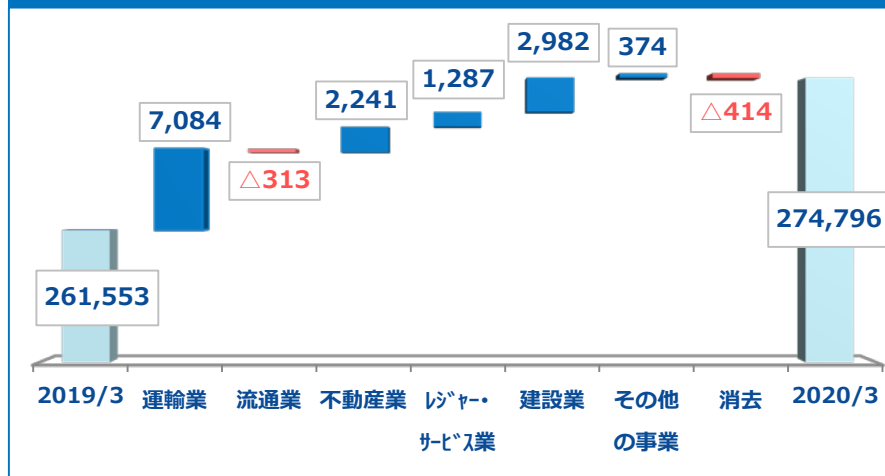
単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率
営業収益	274,796	261,553	13,242	5.1
営業利益	28,320	31,608	△3,288	△10.4
（営業利益率）	10.3	12.1	△1.8pt	-
経常利益	41,705	50,720	△9,014	△17.8
持分法投資利益	13,950	20,211	△6,261	△31.0
親会社株主に帰属 する当期純利益	30,110	38,642	△8,531	△22.1
減価償却費	29,085	25,603	3,481	13.6
有利子負債残高 ※	342,342	320,043	22,299	7.0
EBITDA倍率 （倍）※	6.0	5.6	0.4pt	-

※有利子負債残高にはリース債務を含む

EBITDA倍率 = 有利子負債残高 ÷ (営業利益 + 減価償却費)

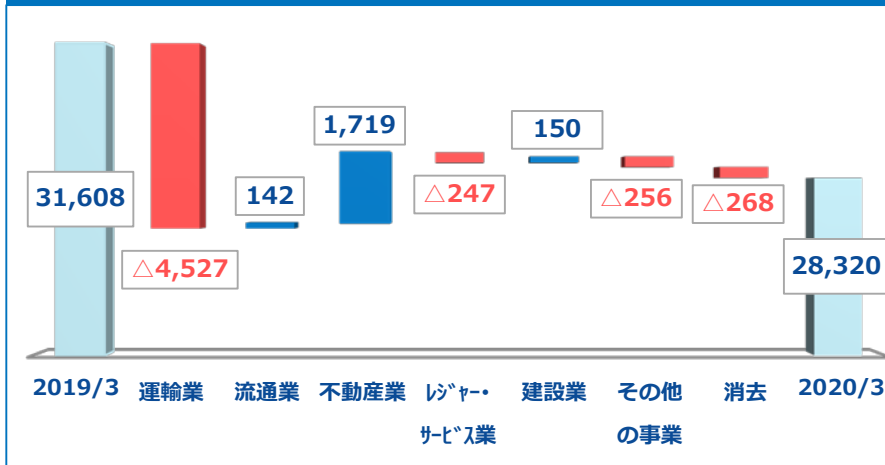
■ 営業収益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



■ 営業利益増減（セグメント別）

（単位：百万円）



1-2. 業績概要 [連結貸借対照表/連結キャッシュ・フロー計算書]

関東鉄道の連結子会社化により総資産、有利子負債残高が増加し、自己資本比率は低下
 営業CFの収入増、投資CFの支出減により、フリーCFは110億円増加

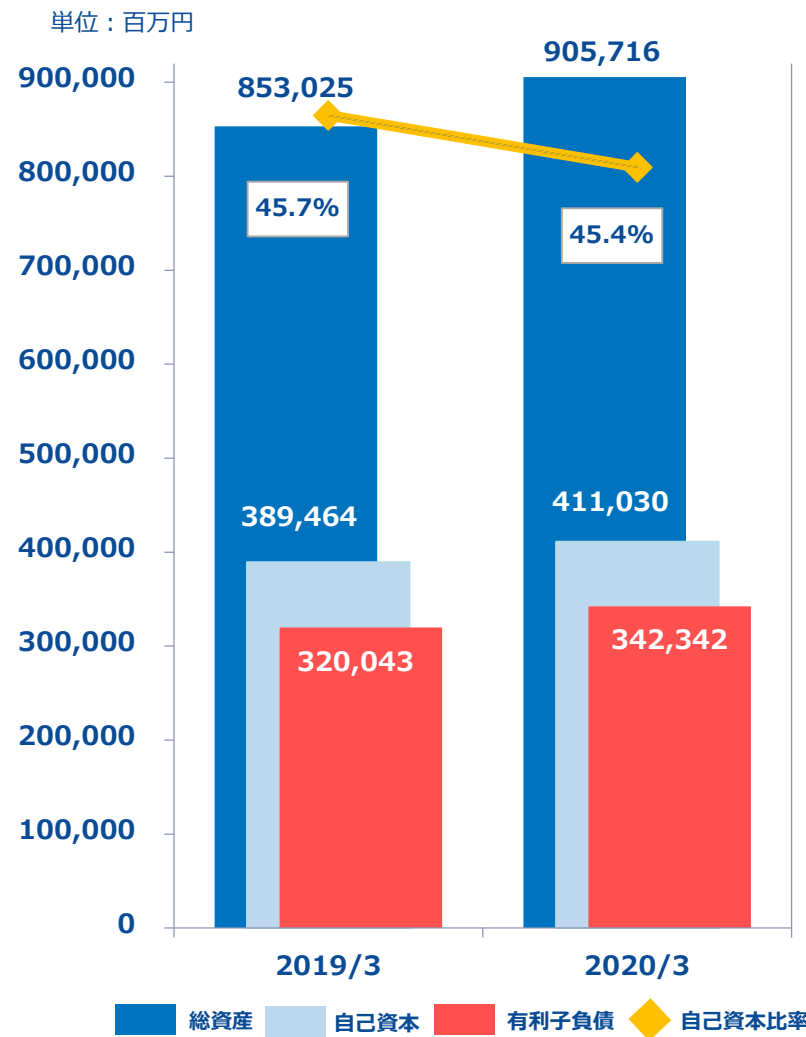
■ 連結貸借対照表

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減
総資産	905,716	853,025	52,690
有利子負債残高 ※	342,342	320,043	22,299
純資産	428,664	402,901	25,762
自己資本	411,030	389,464	21,565
自己資本比率	45.4	45.7	△0.3pt

※有利子負債残高にはリース債務を含む

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

単位：百万円	2020/3 実績	2019/3 実績	増減
営業CF	51,487	45,851	5,635
投資CF	△48,076	△53,430	5,354
(フリーCF)	(3,410)	(△7,579)	(10,989)
財務CF	△4,411	7,246	△11,657
現金及び 現金同等物の増減額	△1,000	△332	△667

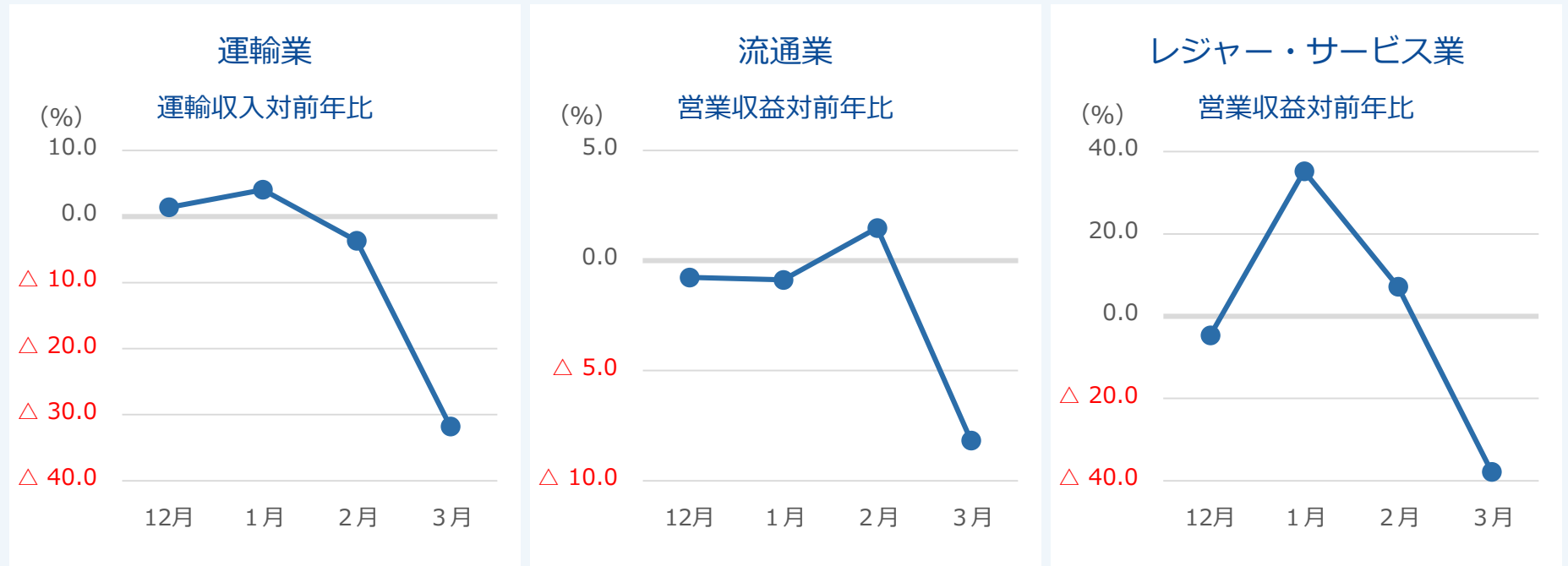


1-3. 新型コロナウイルス感染症の影響

■ 減収額（2020年3月期）約58億円

・ 運輸業	49億円	（鉄道事業30億円、バス事業18億円、タクシー事業1億円）
・ 流通業	3億円	（ストア業2億円、百貨店業・その他1億円）
・ レジャー・サービス業	5億円	
・ その他	1億円	

■ 影響を受けた主な事業の状況（2019年12月～2020年3月）※

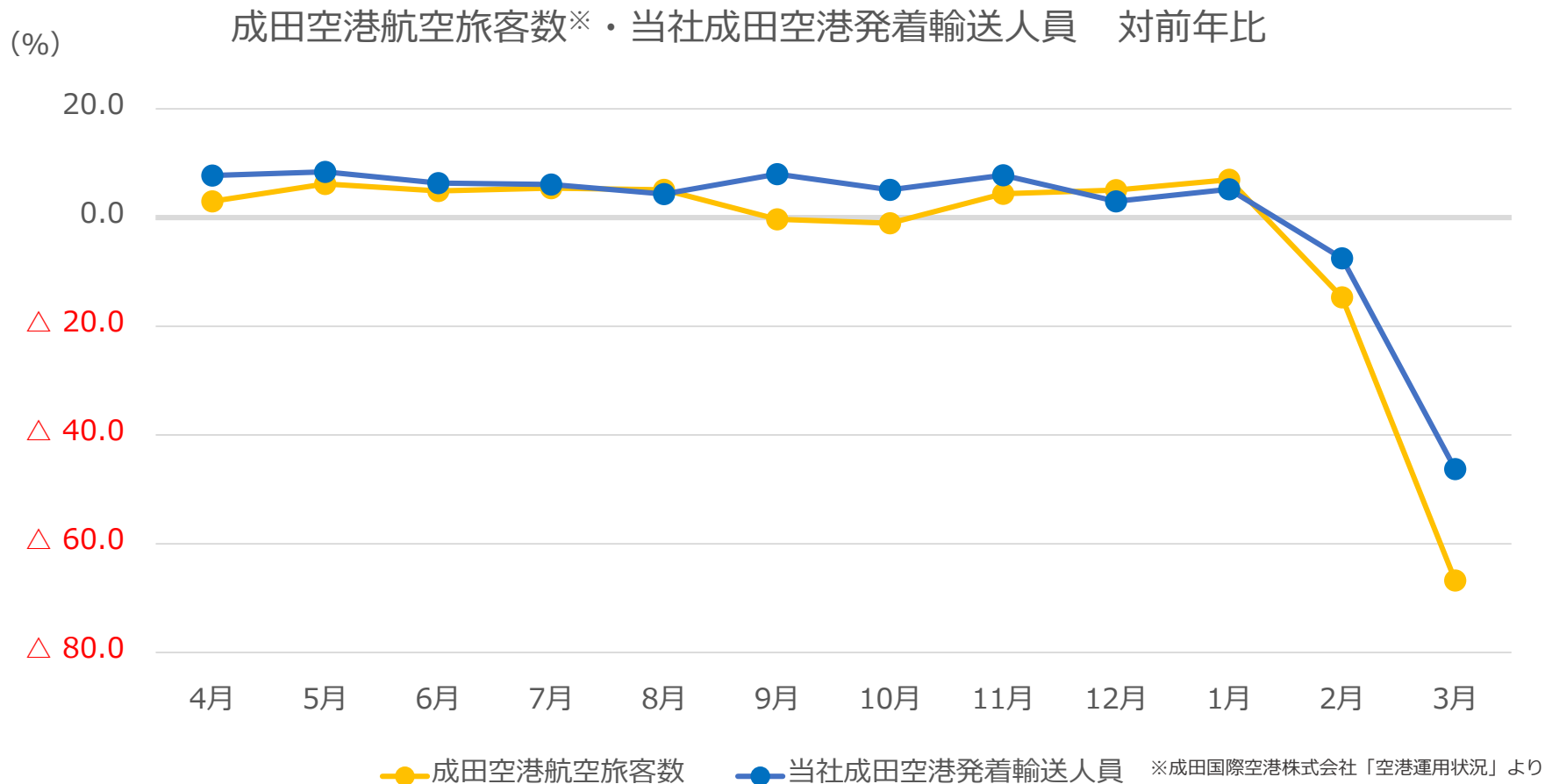


※連結修正前、関東鉄道等新規連結子会社の影響除く

1-3. 新型コロナウイルス感染症の影響

■ 成田空港輸送の状況（2020年3月期） [当社単体]

- ・ 成田空港航空旅客の減少に伴い、2月以降輸送人員が減少



1. 2020年3月期 連結決算
- 2. E4プラン進捗状況**
3. 参考資料

2-1. 中期経営計画「E4プラン」 - 概要

■ E4プラン最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,900億円
以上

営業利益
330億円
以上

営業利益率
11.3%
以上

有利子負債残高
上限3,200億円
(EBITDA倍率 上限5.1倍)

成長の実現

収益規模の拡大

成長への収益基盤確立

将来への投資

成長への基盤整備

財務健全性の向上

E1・E2プラン（2010～2015年度）

E3プラン（2016～2018年度）

E4プラン（2019～2021年度）

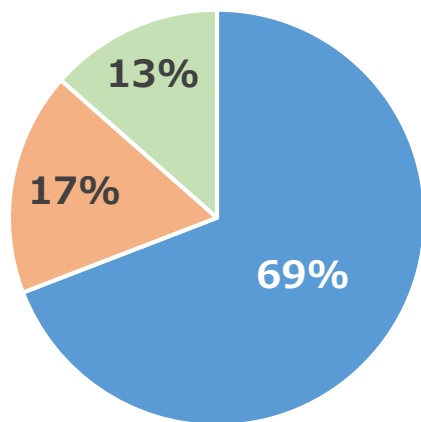
2-1. 中期経営計画「E4プラン」 – 戦略投資枠

500億円程度の戦略投資枠に対して、現時点で約7割の使途が確定

(参考) 戦略投資枠について

中長期的な収益拡大に向けた投資に対応するため「E4プラン」期間で500億円程度の戦略投資枠を設定

確定した使途内訳



- 収益賃貸物件
- 空港輸送の増強
- M&A・会社設立

具体的案件 (主要なもの)

収益賃貸物件

- 京成リッチモンドホテル 2号店 (錦糸町) 計画
- 京成リッチモンドホテル 3号店 (押上) 計画
- 千葉中央駅西口ビル建替
- 京成東上野ビル 取得 (2020年3月)
- ウインベルプラザ京成小岩 取得 (2019年9月) 他

空港輸送の増強

- スカイライナー1編成増備 (2019年9月)
- 宗吾車両基地の拡充に向けた用地買収 他

M&A・会社設立

- 帝都自動車交通による三信交通(株)及び大森交通(株)のM&A (2019年4月)
- 関東鉄道(株)のTOB (2019年10月)
- 式田建設工業(株)のM&A (2019年4月) 他

2-2. 中期経営計画「E4プラン」－ 基本戦略

- 戦略1 地域社会との共生による京成グループのプレゼンス強化**
- 戦略2 グループ経営体制の充実並びにコーポレート・ガバナンスの強化**
- 戦略3 インバウンド市場の深耕**
- 戦略4 既存事業の強化による収益拡大**
- 戦略5 安全・安心の確保並びにサービス品質の向上**
- 戦略6 新たな成長ビジョンの確立**

■ 自治体・教育機関等との連携強化

・佐倉市との連携

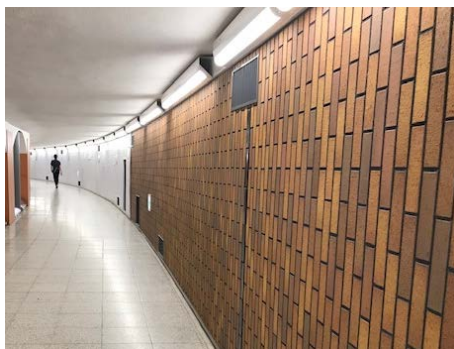
- 観光キャンペーンの一環として、京成佐倉駅の駅名看板装飾及び記念乗車券の発売等の各種企画を実施



装飾した駅名看板

・東京藝術大学との連携

- 京成上野駅地下連絡通路のリニューアル



リニューアルした連絡通路

・葛飾区及び(株)タカラトミーとの連携

- 当社の創立110周年とタカラトミーの鉄道玩具「プラレール」の誕生60周年を記念し、京成立石駅を中心とした夏休み特別企画を実施



京成立石駅コンコースに設置した「けいせいたていし プラレール駅」



都内5駅が対象の「おいでよ！プラレールスタンプラリー」

■ 生活サービス事業の拡充①

- ・高架下を活用した保育園の誘致



千住大橋駅クローバー保育園

- ・コンビニエンスストアの店舗拡充
 - 駅構内を中心に53店舗を展開（2019年度3店舗出店）
- ・コインランドリー事業に新規参入



コンビニエンスストアとコインランドリーの
一体型店舗（千葉みなと店）

■ 生活サービス事業の拡充②

- ・スーパーマーケットの業態変更（業務スーパー）
- ・京成不動産「津田沼センター」の開設



業務スーパー三咲店



津田沼センター

■ 千葉中央エリアの活性化

- ・千葉中央駅西口ビルの建て替え（2021年度開業予定）
 - 千葉中央駅直結 地上8階建て複合ビル
 - 商業施設、オフィス、ホテルが入居予定



■ BRT事業の推進

- ・ BRT事業の推進により、東京都の臨海地域における豊洲市場の開場や環状2号線等の整備、住宅開発などによる交通需要の増加に速やかに対応し、輸送ネットワークを拡大
- ・ 2019年7月に「東京BRT(株)」を設立、プレ運行開始に向け準備中

[参考] プレ運行（一次）の概要（予定）

運行事業者	京成バス
運行ルート	虎ノ門ヒルズ～新橋～晴海BRTターミナル 新橋～晴海BRTターミナル
運行時間	6時台～22時台
運賃	220円（現金・IC同額、小児等半額） 他、BRT専用定期券の発行等を予定
使用車両	単車車両8両 （燃料電池バス5両、ディーゼルバス3両） 連節車両1両 （ディーゼルハイブリットバス）



単車車両（イメージ）

連節車両（イメージ）



停留施設（イメージ）



プレ運行（一次）ルート

■ 関東鉄道(株)の連結子会社化

- ・持分法適用会社である関東鉄道(株)に対しTOB実施
- ・連結子会社化することで、強固な協力関係を構築し経営基盤を強化

[参考] 関東鉄道の概要

設立	1922年9月3日
本社所在地	茨城県土浦市真鍋1-10-8
営業キロ	鉄道55.6km
駅数	28駅
従業員数	685名
関係会社	14社（バス事業、タクシー事業、不動産業等）

(主要バス路線)

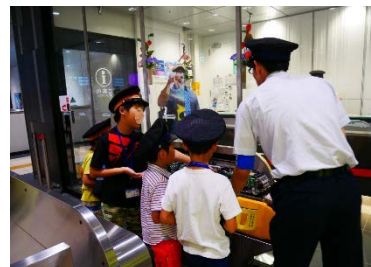
一般路線	水戸、つくば、土浦等のエリア
高速バス路線	都市間高速バス（水戸駅～東京ディズニーリゾート®線ほか9路線）、空港連絡バス（茨城空港～東京駅線ほか6路線）等

■ コーポレート・ガバナンスの強化

- ・社外取締役の増員（2名→3名、比率25%）

■ CSR活動の推進

- ・職業体験型プログラム等の開催



京成きっずアカデミー



京成リアルミュージアム

- ・安全確保に向けた働きかけ
 - －習志野警察署と連携した踏切啓蒙活動等の実施



踏切啓蒙活動



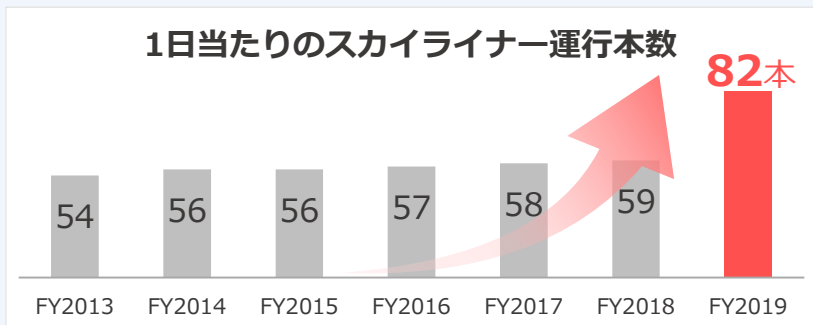
非常ボタン体験コーナー

- ・「京成電鉄芸術賞」の創設
 - －東京藝術大学の卒業・修了予定の学生による優れた作品を当社において表彰

2-2. 戦略3 インバウンド市場の深耕

■ 空港アクセスの利便性向上①

- ・スカイライナー増備（8→9編成）による運行本数増
- 1日当たりの運行本数が1.4倍に増加



- ・スカイライナー終日20分間隔運行の実現
※一部、異なる時間帯あり

スカイライナー運行間隔 (上野駅 下り8時~10時台の場合)

	ダイヤ改正前	ダイヤ改正後
8時台	00 25 50	00 20 40
9時台	20	00 20 40
10時台	00 40	00 20 40

- ・スカイライナー運行時間帯の拡大
- ・電車とバスの終車時刻延長

■ 空港アクセスの利便性向上②

- ・新形式車両の導入（3100形）



■ 訪日外国人受入体制の強化

- ・行先表示器への中国語・韓国語の追加
- ・「POCKETALK®（ポケットーク）」の導入
- 全駅及びスカイライナー担当車掌に導入



行先表示器



ポケットークの活用イメージ

2-2. 戦略3 インバウンド市場の深耕

■ 海外プロモーションの推進

- ・グループ一体となった海外旅行博出展
- ・東京タワーのメインデッキ入場券、スカイライナー乗車券・特急券、Tokyo Subway Ticketがセットになった訪日外国人向け企画乗車券「Tokyo Tower & Access Ticket」の発売



旅行博の様子



「Tokyo Tower & Access Ticket」

■ 成田空港旅客の取り込み強化

- ・国内のスカイライナー券発売カウンターにおけるモバイル決済サービスの拡大
 - 「Alipay」 「WeChat Pay」 取扱い開始



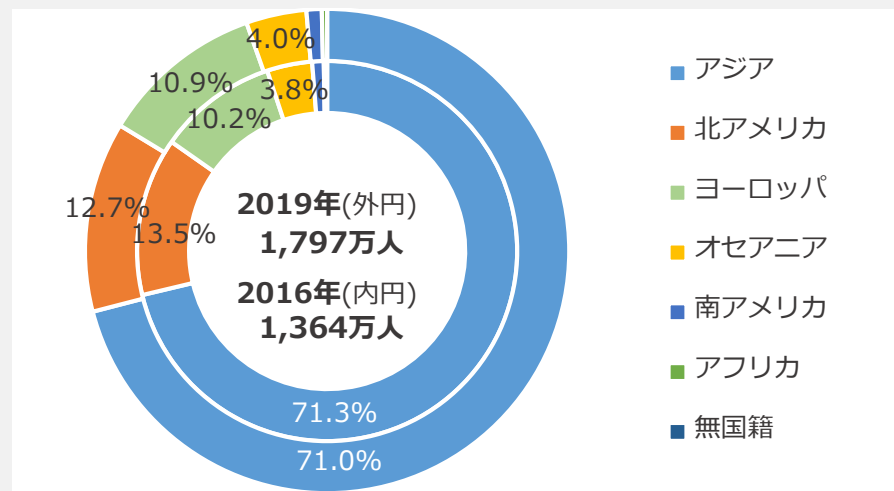
「Alipay」のロゴマーク



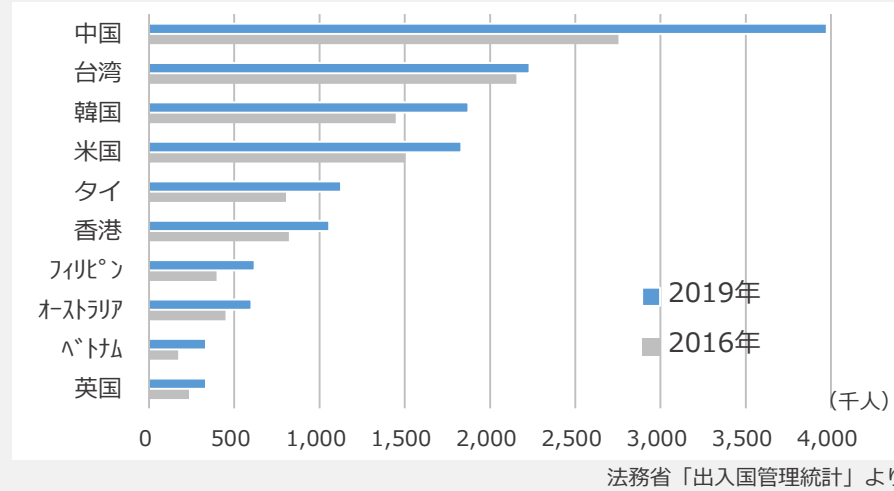
「WeChat Pay」のロゴマーク

【参考】インバウンド市場の近況（2019年実績）

– 成田空港における出入国外国人数



– 成田空港における出入国外国人数（上位10か国）



2-2. 戦略4 既存事業の強化による収益拡大

■ 収益賃貸物件の開発・取得

- ・ 安定収益が得られる収益物件の開発・取得
- ・ 当社、グループ会社所有地の有効活用



ホテルリブマックス
日本橋小網町



ウインベルプラザ
京成小岩



京成東上野ビル



スカイグランデ新御徒町

■ 宿泊主体型ホテル事業の推進

- ・ 京成リッチモンドホテルの新規出店加速



2号店
錦糸町駅徒歩約5分
2021年度開業予定

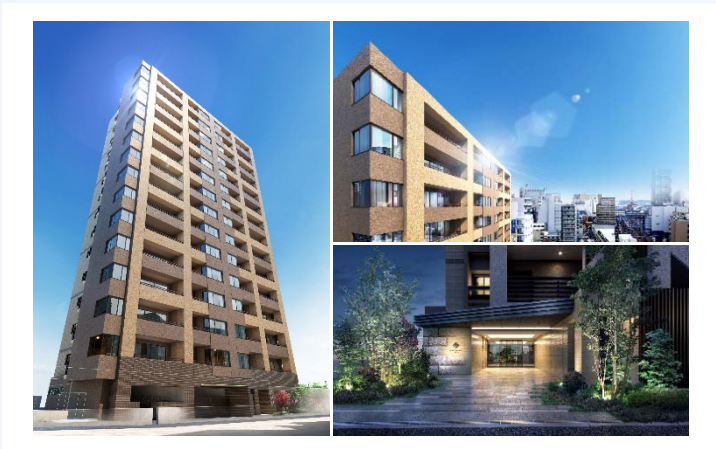


3号店
押上駅徒歩約1分
2021年度開業予定

2-2. 戦略4 既存事業の強化による収益拡大

■ 分譲マンションの販売

- ・ サングランデ八王子 [56戸] (2020年度竣工予定)

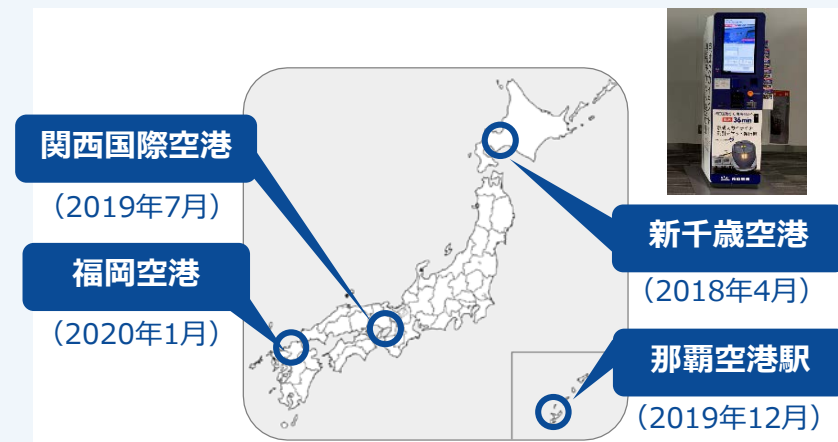


■ M&A・外部パートナーとの提携推進等

- ・ 運輸業 (タクシー事業)
 - 帝都自動車交通によるM & A (2019年4月)
 - 三信交通(株) [車両台数 : 81台]
 - 大森交通(株) [車両台数 : 27台]
 - ※帝都三信交通(株)、帝都三信大森交通(株)として営業中
 - 帝都自動車交通による業務提携 (2020年2月)
 - 京王自動車(株) [車両台数 : 229台]

■ 国内旅客の誘致

- ・ 国内空港等へのスカイライナー割引チケット発行機の設置



- ・ 伊予鉄グループとのコラボレーション企画の実施
- ・ 沿線の魅力発信



沿線情報誌「KEISEI おでかけぶっく (2020年度版)」

■ ホーム安全対策の強化

- ホームドアの設置
- 成田空港駅 (2020年度供用開始予定)



ホームドア (写真は日暮里駅・空港第2ビル駅)

- ベンチ更新
- 転落事故防止に向け、線路に対して垂直にベンチを配置することで安全性を向上 (2019年度15駅実施)



更新前



更新後

■ 災害対策の強化

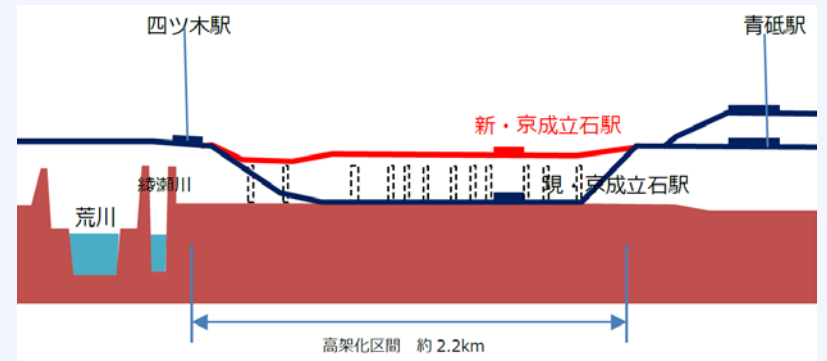
- 法面補強工事の推進 (宗吾参道駅~公津の杜駅間)
- 耐震補強工事の推進 (京成西船駅 他)



補強した法面 (写真は宗吾参道駅~公津の杜駅間)

■ 連続立体交差事業の推進

- 葛飾区内連続立体交差化工事 (四ツ木駅~青砥駅間)
- 立体交差化により11か所の踏切を解消



■ お客様サービス向上①

- ・ 空港第2ビル駅・成田空港駅リニューアル



リニューアルした改札口

- ・ 待合室の設置（京成幕張本郷駅）
- ・ 駅施設のバリアフリー化の推進（検見川駅等）



待合室



バリアフリー施設

■ お客様サービス向上②

- ・ 新形式車両の導入（3100形）



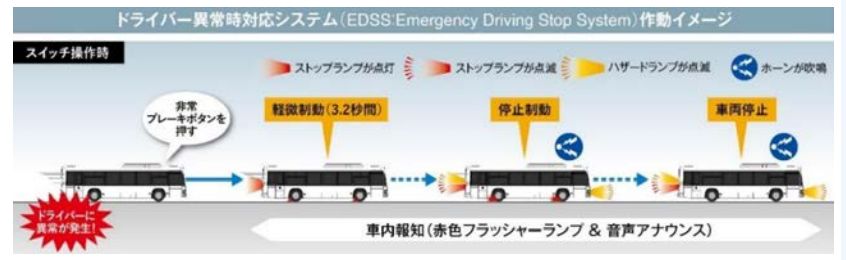
スーツケース置場



フリースペース

■ 異常時対応の強化

- ・ 「ドライバー異常時対応システム」搭載 大型路線バスの導入



作動イメージ

2-2. 戦略6 新たな成長ビジョンの確立

成田空港を取り巻く環境の変化により、将来的な成田空港利用者の増加が予想される

日本政府

基本方針 観光を我が国の**基幹産業**へ成長

■ 訪日外国人旅行者数目標

2020年
4,000万人

2030年
6,000万人

■ 訪日外国人旅行消費額目標

2020年
8兆円

2030年
15兆円

成田国際空港

更なる**空港機能強化**の着実な推進



成田国際空港の更なる機能強化に関する確認書 別図 より

成田空港の将来像

(2030年度頃)

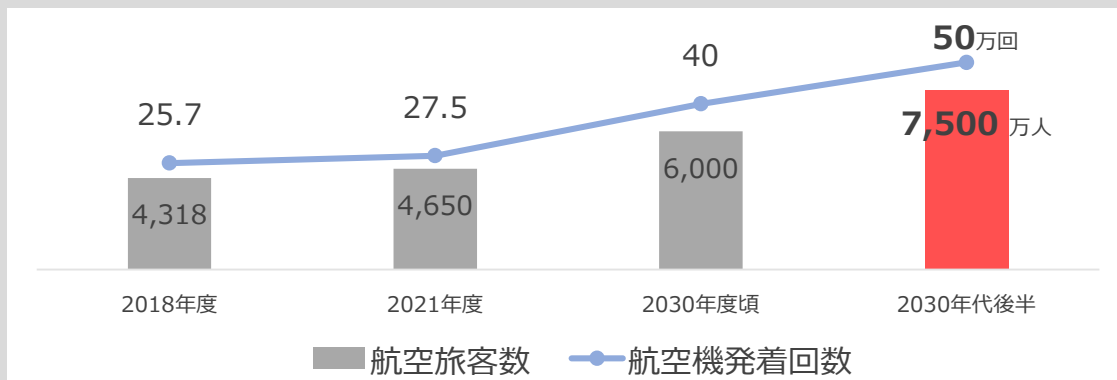
運用時間：**5:00～24:30**
(現在 6:00～24:00)

発着回数：**40万回程度**
(2018年度実績 25.7万回)

旅客数：**6,000万人程度**
(2018年度実績 4,318万人)

NAAグループ 中長期経営構想 及び
2019年3月期 決算説明会資料より当社作成

[参考] 成田空港の航空旅客数・航空機発着回数



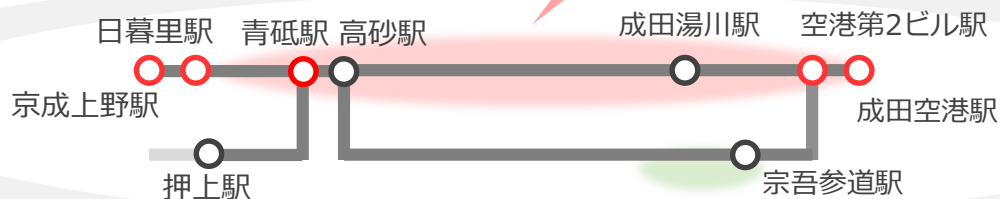
NAAグループ 中長期経営構想 及び
2019年3月期 決算説明会資料より当社作成

2-2. 戦略6 新たな成長ビジョンの確立

成田空港利用者の増加を見据えた、輸送力増強について検討を継続

成田スカイアクセス線の設備改良

成田スカイアクセス線における更なる輸送力増強のため、線路容量の拡大や駅の改良等によるボトルネック解消を検討



車両・駅等のあり方

成田空港利用者の増加に対応すべく、スカイライナー車両・停車駅等のあり方を検討

※ ○ …スカイライナー停車駅

車両基地の機能強化

更なる車両増備等に対応すべく、宗吾車両基地を建替・拡充

⇒用地買収を推進

2-2. 戦略6 新たな成長ビジョンの確立

■ 新たな技術・サービスへの対応

- ・自動運転バス実証実験の実施
 - 幕張新都心における自動運転バス実証実験実行委員会の構成員（※）として、実証実験を実施
- ※千葉市、イオン(株)、イオンコンパス(株)、京成電鉄、京成バス
 技術協力：国立大学法人群馬大学



実証実験に使用した車両

- ・M a a Sに向けた連携
 - 全日本空輸(株)（ANA）とM a a Sの構築、展開に向けたサービス連携の第1弾として、ANAの航空券予約サイトからスカイライナー券を割引価格でシームレスに購入できるサービスを開始

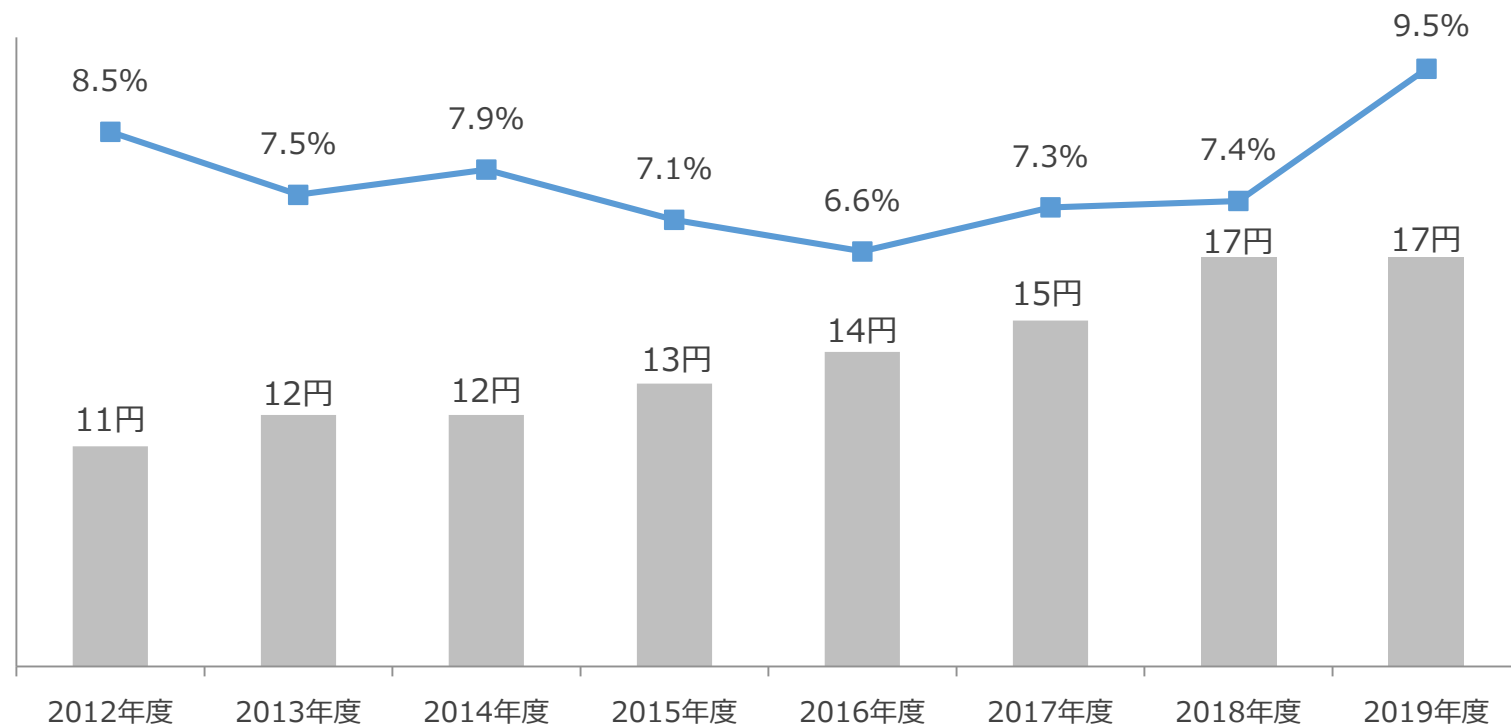


サービス提供画面のイメージ

2-3. 株主還元について

- 安定的かつ継続的な配当を実施
- 鉄道事業における将来の需要増に対応する成長投資を優先
- 成長投資を優先しつつ、更なる株主還元の充実
- 2021年度に連結配当性向10%を目指す

連結配当性向および1株当たり配当金（年間）の推移



1. 2020年3月期 連結決算
2. E4プラン進捗状況
3. **参考資料**

3-1. 2020年3月期 セグメント別業績 (運輸業)

関東鉄道及び同子会社の連結子会社化により**増収**となったものの、
新型コロナウイルス感染症の影響や減価償却費等のコスト増もあり減益

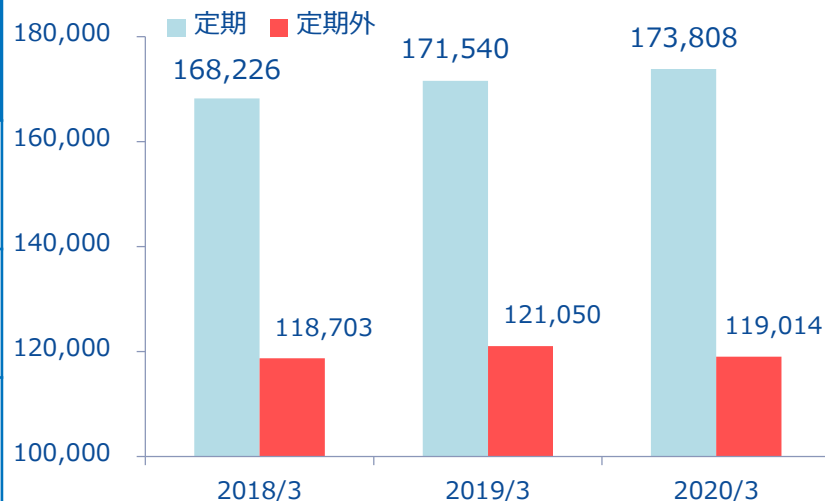
単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	161,089	154,004	7,084	4.6	
鉄道事業	82,424	82,436	△11	△0.0	関東鉄道※の連結 (+11億円) 新型コロナウイルスの影響による減収 (△30億円) 駅構内賃貸収入の計上セグメント変更 (△9億円)
バス事業	50,242	46,686	3,556	7.6	関東鉄道※及び同子会社3社の連結 (+42億円) 新型コロナウイルスの影響による減収 (△18億円)
タクシー事業	28,422	24,882	3,539	14.2	タクシー事業再編に伴う連結範囲の拡大 関東鉄道子会社4社の連結 (+5億円)
営業利益	17,921	22,448	△4,527	△20.2	
鉄道事業	14,744	17,880	△3,135	△17.5	新型コロナウイルスの影響による既存会社の減収 駅構内賃貸収入の計上セグメント変更(△7億円)
バス事業	2,939	4,187	△1,248	△29.8	新型コロナウイルスの影響による既存会社の減収
タクシー事業	237	380	△143	△37.7	
減価償却費	24,222	21,291	2,930	13.8	※関東鉄道は複数セグメント会社です。

3-1. 2020年3月期 セグメント別業績 運輸成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率
定期	173,808	171,540	2,268	1.3
定期外	119,014	121,050	△2,036	△1.7
合計	292,822	292,590	232	0.1

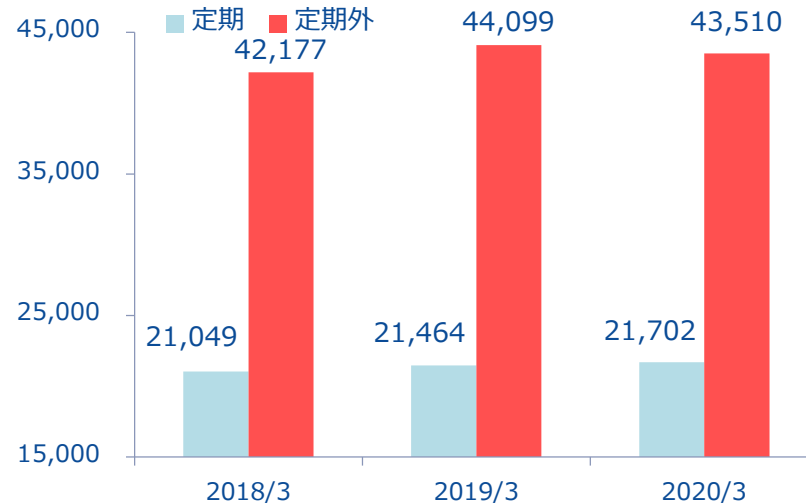
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率
定期	21,702	21,464	237	1.1
定期外	43,510	44,099	△588	△1.3
合計	65,213	65,563	△350	△0.5

単位：百万円

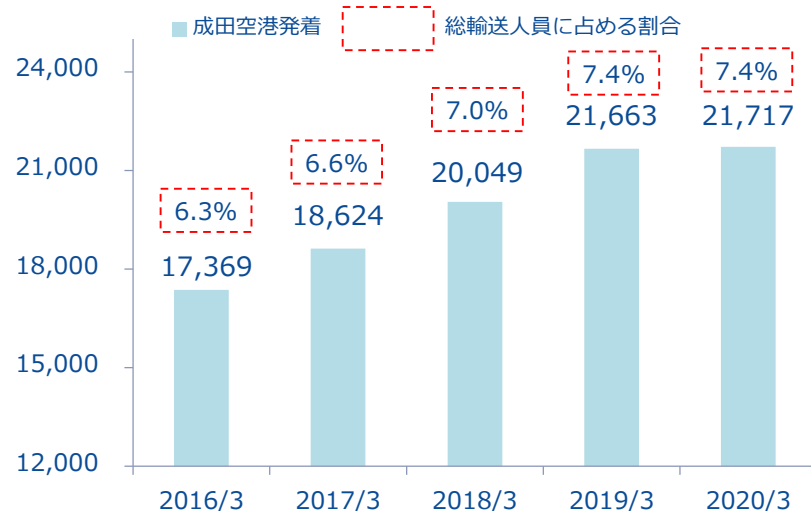


3-1. 2020年3月期 セグメント別業績 成田空港輸送成績[当社単体]

■ 輸送人員

単位：千人、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率
成田空港発着	21,717	21,663	54	0.2
有料特急	6,079	6,076	3	0.0

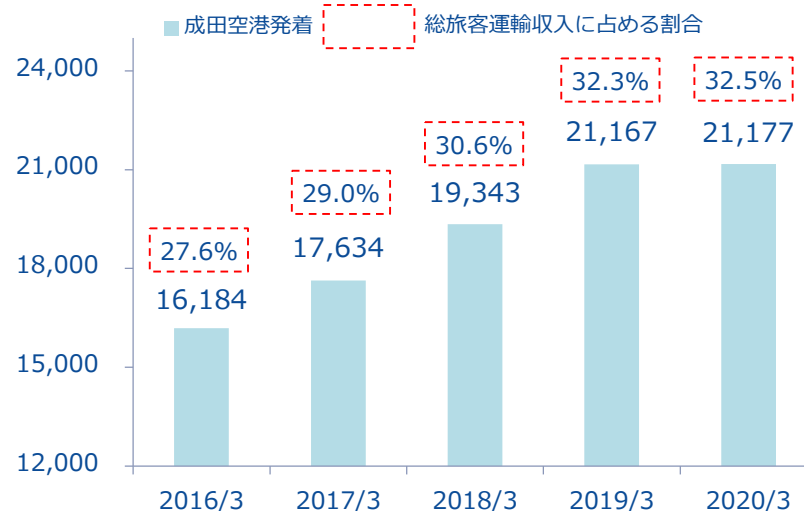
単位：千人



■ 旅客運輸収入

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率
成田空港発着	21,177	21,167	10	0.0
有料特急	5,843	5,805	37	0.7

単位：百万円



3-1. 2020年3月期 セグメント別業績（流通業）

百貨店業の売上減により減収となった一方、コスト減により**増益**

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	68,321	68,634	△313	△0.5	
ストア業	37,425	37,214	211	0.6	新店開業による増※ 関東鉄道子会社2社の連結
百貨店業	25,351	25,869	△517	△2.0	衣料品等の売上減
その他	5,544	5,551	△7	△0.1	
営業利益	389	247	142	57.5	
ストア業	245	325	△79	△24.5	※主な新店等 京成ストア（リブレ京成） ・三咲店 一時閉店（2019年5月） ⇒業務スーパーとしてオープン（2019年10月） ・ラパーク千城台店 閉店（2020年2月） コミュニティー京成（ファミリーマート） ・ちはら台駅店 オープン（2019年6月） ・道野辺中央店 オープン（2019年11月） ・千葉みなと店 オープン（2020年3月）
百貨店業	10	65	△55	△84.1	
その他	133	△143	276	-	
スーパーマー ケット店舗数 ※	20	21	△1	-	
コンビニエンス ストア店舗数 ※	53	50	3	-	

新規賃貸物件の稼働、関東鉄道及び同子会社の連結子会社化等により、**増収増益**

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	24,648	22,406	2,241	10.0	
販売業	6,585	6,229	355	5.7	
賃貸業	13,786	11,904	1,881	15.8	駅構内賃貸収入の計上セグメント変更、関東鉄道及び同子会社2社の連結、新規賃貸物件の稼働※
管理業	4,276	4,272	4	0.1	
営業利益	8,446	6,727	1,719	25.6	
販売業	932	440	491	111.5	※主な分譲マンション・新規賃貸物件 分譲マンション（2018年度） ・サングランデ津田沼 72戸
賃貸業	7,235	6,038	1,196	19.8	分譲マンション（2019年度） ・サングランデ ザ・レジデンス千葉 イーストレジデンス 90戸
管理業	279	248	31	12.5	・サングランデ津田沼 9戸
減価償却費	3,786	3,332	453	13.6	新規賃貸物件
マンション 販売戸数（戸）	99	72	27	-	・ウインベルプラザ京成小岩（2019年9月） ・ホテルリブマックス日本橋小網町（2019年9月）

3-1. 2020年3月期 セグメント別業績(レジャー・サービス業、建設業、その他の事業)

■ レジャー・サービス業

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	10,524	9,237	1,287	13.9	関東鉄道子会社2社の連結 ホテル新店の通期寄与
営業利益	△140	107	△247	-	ホテル業における新型コロナウイルスの影響等

■ 建設業

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	27,245	24,263	2,982	12.3	完成工事高の増
営業利益	1,617	1,466	150	10.3	

■ その他の事業

単位：百万円、%	2020/3 実績	2019/3 実績	増減	率	増減要因
営業収益	9,977	9,602	374	3.9	鉄道車両整備業の増
営業利益	316	573	△256	△44.8	自動車車体製造業の減

3-2. 長期経営計画「Eプラン」 – 概要

グループ経営理念

京成グループは、お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、社会の発展に貢献します。

長期経営計画「EVOLUTION PLAN」 (= Eプラン) 〔2010年度～2021年度 12か年〕

E1プラン (2010～2012年度)	E2プラン (2013～2015年度)	E3プラン (2016～2018年度)	E4プラン (2019～2021年度)
------------------------	------------------------	------------------------	------------------------

グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する。

■ 最終年度（2021年度）数値目標

営業収益
2,800億円以上

営業利益率
10%以上

有利子負債残高
3,500億円以下
(EBITDA倍率 7倍以下)

経営理念

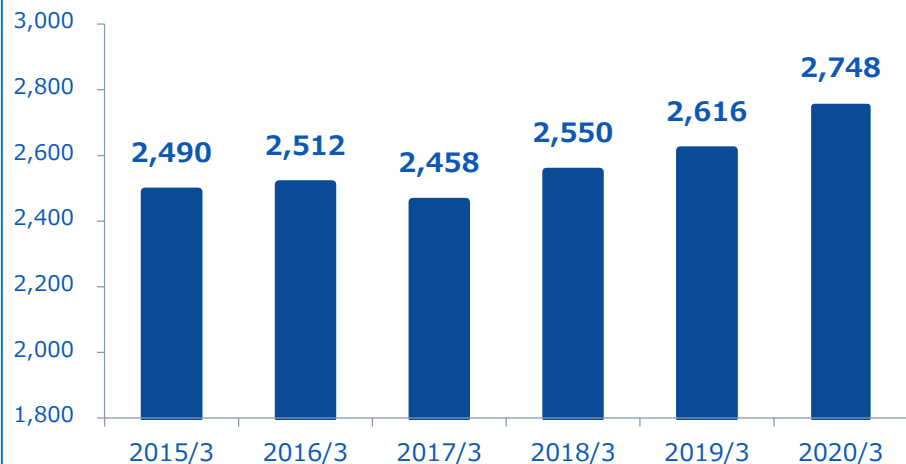
長期経営計画
「EVOLUTION PLAN」

中期経営計画
(3か年計画)

3-2. 長期経営計画「Eプラン」 – 進捗状況

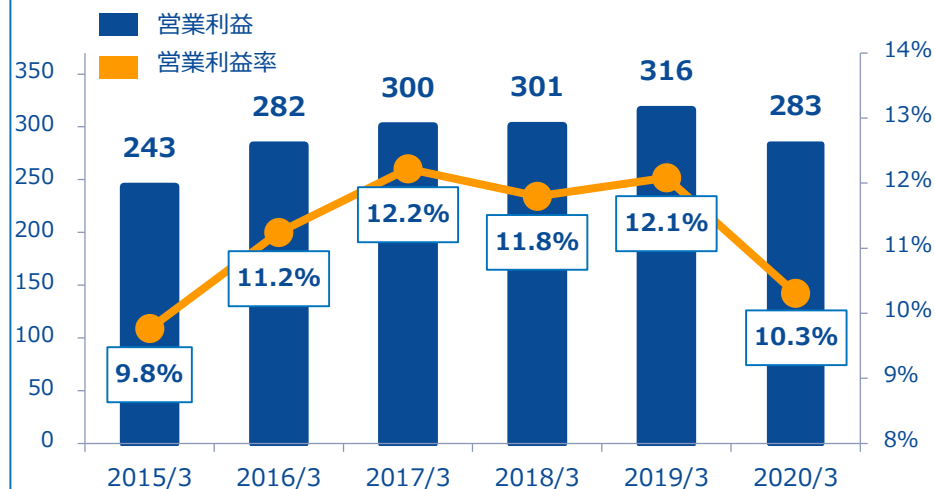
■ 営業収益

(単位：億円)



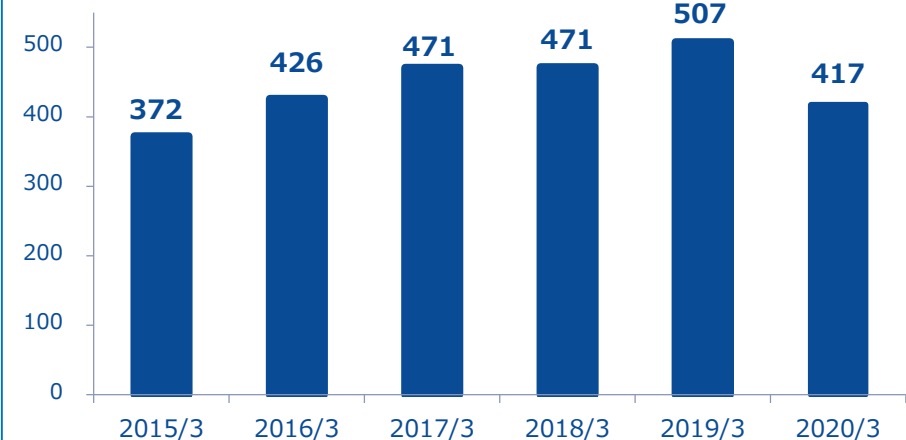
■ 営業利益・営業利益率

(単位：億円、%)



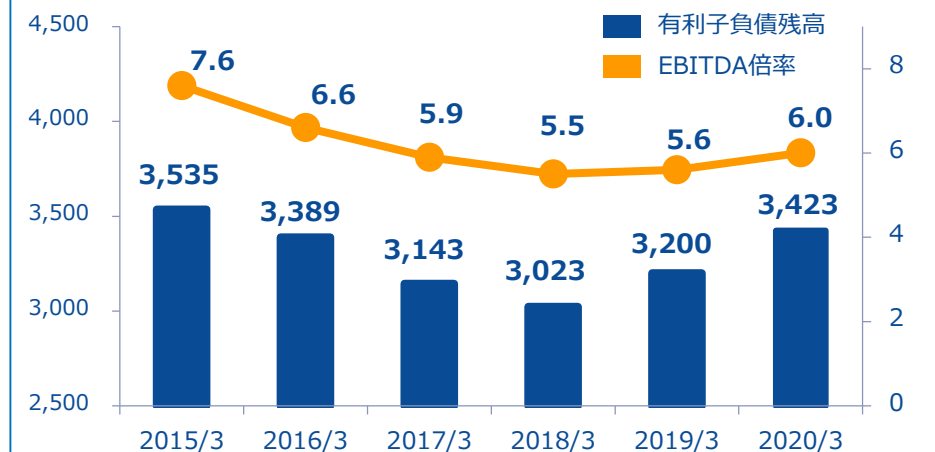
■ 経常利益

(単位：億円)



■ 有利子負債・EBITDA倍率

(単位：億円、倍)



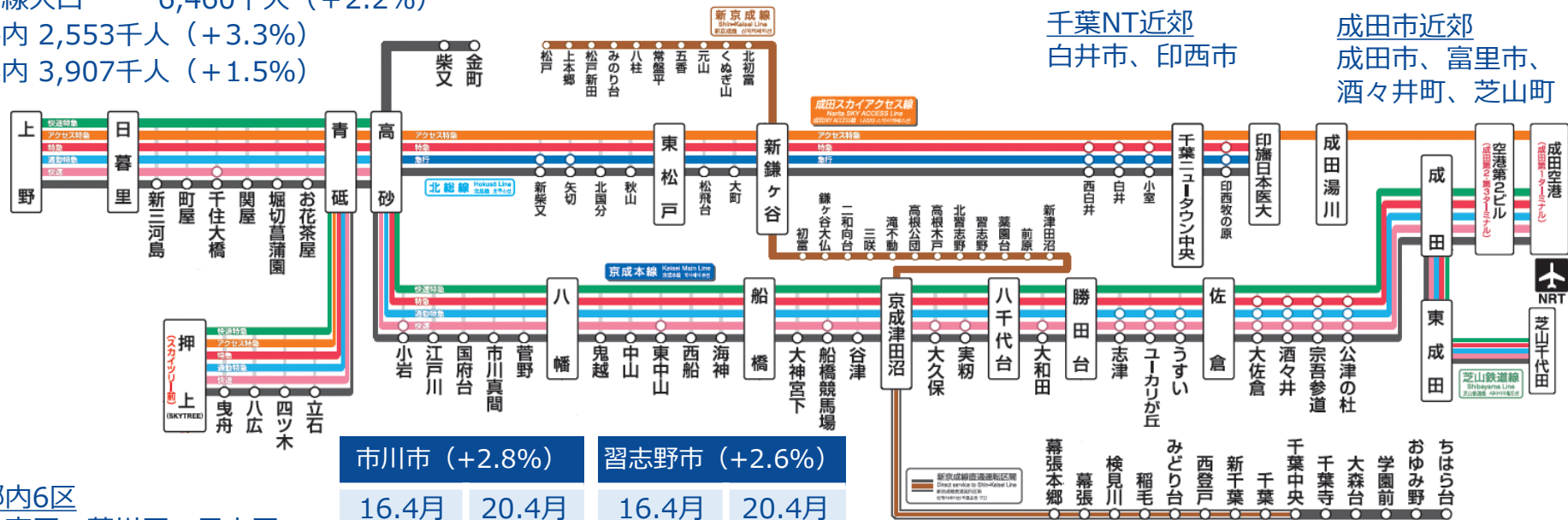
3-3. 沿線人口の推移

2020年4月、2016年4月（前中期経営計画「E3プラン」初年度）比

単位：千人

京成エリア 東京都東部・千葉県
 営業距離 178.8km(当社、北総、新京成)
 駅数 101駅
 自治体数 都内6区、県内13市 2町
 沿線人口 6,460千人 (+2.2%)
 都内 2,553千人 (+3.3%)
 県内 3,907千人 (+1.5%)

松戸市 (+1.7%)		鎌ヶ谷市 (+0.5%)		千葉NT近郊 (+5.6%)		成田市近郊 (+0.3%)	
16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月
485	493	109	109	155	164	209	210



都内6区
 台東区、荒川区、足立区
 葛飾区、江戸川区、墨田区

市川市 (+2.8%)		習志野市 (+2.6%)		船橋市 (+2.6%)		八千代市 (+2.5%)		佐倉市 (△1.4%)		千葉市 (+0.8%)		市原市 (△1.6%)	
16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月	16.4月	20.4月
484	497	169	174	624	641	194	198	173	170	973	981	274	269

数値は自治体公表値による

本資料の情報のうち、過去の事実以外のものは将来の見通しであり、リスクや不確実性を含んだものです。実際には様々な要因により異なる結果となる場合があることをご承知おきください。

本資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。
<https://www.keisei.co.jp/keisei/ir/index.html>